

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 中京医薬品

コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠

TEL 0569-29-0202

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 平成22年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	3,538	△12.6	186	5.5	201	6.3	41	△57.6
22年3月期第2四半期	4,047	—	176	—	189	—	98	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	4.14	—
22年3月期第2四半期	9.77	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
23年3月期第2四半期	5,362	—	2,285	—	42.6	—	226.36	
22年3月期	5,180	—	2,266	—	43.8	—	224.47	

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,285百万円 22年3月期 2,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
23年3月期	—	2.50	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	△9.0	250	43.7	270	37.1	100	12.4	9.90

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 11,385,734株 22年3月期 11,385,734株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,286,980株 22年3月期 1,286,678株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 10,098,959株 22年3月期2Q 10,099,292株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成した物であり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、業績回復傾向にある企業も一部あるものの、欧州や米国を中心とした景気の停滞、継続的な円高等のマイナス要因もあり、個人消費の低迷や雇用情勢も厳しい状況が続き下振れリスクを抱えながらの非常に厳しい景気状態が続いております。

このような環境の中で、当社は顧客満足度の向上を営業の現場でしっかり根付かせ、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すとともに、昨今相次ぐ企業不祥事を他山の石とし、企業の社会的責任の重要性を再認識し、新中期計画においてCSRの理念を明文化し全社員への周知徹底に努め、皆様方から「より愛され、より親しまれる企業を目指す」ことを第一義の目的とし、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

当社の中核事業であります家庭医薬品等販売事業におきましては、第1四半期会計期間より行っております営業所統廃合を更に推し進め、当第2四半期会計期間においては9営業所の統廃合を行い販売費及び一般管理費の削減に努めました。また営業効率の向上を目指し、過去数年売上実績が無かった顧客からの救急箱の引上げも重点施策として継続して行いました。その結果、売上高は景気低迷の影響もあり前年同期比で減少となったものの、販売費及び一般管理費は前年同期比で13.0%の大幅削減となり、経常利益は前年同期比で大幅増加となるなど着実に成果は上がり、利益を重視した強固な財務基盤の礎を築くことができました。またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗るべく事業拡大を見据え、供給力の大幅向上のため当期中の稼働を目指し新工場の建設を進めております。

その結果第2四半期累計期間におけるセグメント別売上高は、家庭医薬品等販売事業の小売部門においては2,762百万円(前年同期比12.8%減)、卸売部門においては546百万円(前年同期比11.6%減)、売水事業部門においては223百万円(前年同期比1.0%減)、その他においては6百万円(前年同期比80.9%減)となりました。

また、当第2四半期累計期間における売上高は3,538百万円(前年同期比12.6%減)、営業利益は186百万円(前年同期比5.5%増)、経常利益は201百万円(前年同期比6.3%増)、また四半期純利益は41百万円(前年同期比57.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は5,362百万円となり、前事業年度末に比べ181百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加151百万円、受取手形及び売掛金の増加66百万円によるものであります。

負債の部は3,076百万円となり、前事業年度末に比べ162百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等の増加114百万円、支払手形及び買掛金の増加105百万円及び長期借入金の減少105百万円によるものであります。

純資産の部は2,285百万円となり、前事業年度末に比べ18百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加16百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の43.8%から42.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は873百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は363百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益141百万円、仕入債務の増加額105百万円及びたな卸資産の減少額80百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は110百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出112百万円、定期預金の払戻による収入78百万円及び定期預金の預入による支出75百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は99百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出185百万円、長期借入れによる収入100百万円及び配当金の支払額25百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年10月29日付けにて発表いたしました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度において使用した将来の業績予測に当四半期累計期間における著しい変化の影響を加味したものを使用しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、従来に比べ、営業利益、経常利益は8,691千円、税引前四半期純利益は、34,002千円減少しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,058,047	906,846
受取手形及び売掛金	472,860	406,468
商品及び製品	389,686	397,590
委託商品	460,936	522,380
仕掛品	60	65
原材料及び貯蔵品	18,117	29,617
その他	203,594	184,634
貸倒引当金	△12,097	△9,286
流動資産合計	2,591,205	2,438,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	424,859	455,448
土地	1,713,175	1,713,175
その他（純額）	130,920	21,415
有形固定資産合計	2,268,955	2,190,039
無形固定資産	52,277	56,325
投資その他の資産		
その他	478,147	525,129
貸倒引当金	△28,545	△29,110
投資その他の資産合計	449,602	496,018
固定資産合計	2,770,835	2,742,384
資産合計	5,362,041	5,180,700
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	535,069	429,975
短期借入金	165,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	388,176	368,184
未払法人税等	124,630	10,435
賞与引当金	175,000	153,000
返品引当金	8,698	15,709
その他	357,487	363,829
流動負債合計	1,754,061	1,491,133
固定負債		
長期借入金	837,829	943,579
退職給付引当金	147,283	151,554
役員退職慰労引当金	310,540	302,150
資産除去債務	4,212	—
その他	22,198	25,354
固定負債合計	1,322,063	1,422,638
負債合計	3,076,124	2,913,772

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,115
利益剰余金	2,030,298	2,013,715
自己株式	△548,267	△548,199
株主資本合計	2,287,095	2,270,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,179	△3,653
評価・換算差額等合計	△1,179	△3,653
純資産合計	2,285,916	2,266,928
負債純資産合計	5,362,041	5,180,700

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,047,174	3,538,841
売上原価	1,344,828	1,154,828
売上総利益	2,702,346	2,384,012
販売費及び一般管理費	2,525,618	2,197,572
営業利益	176,727	186,440
営業外収益		
受取利息	372	303
受取配当金	599	930
受取家賃	11,346	10,519
その他	13,080	14,017
営業外収益合計	25,398	25,771
営業外費用		
支払利息	10,763	9,670
為替差損	1,286	175
その他	192	600
営業外費用合計	12,242	10,446
経常利益	189,883	201,765
特別利益		
投資有価証券売却益	484	—
保険解約返戻金	1,613	—
固定資産売却益	35,918	—
特別利益合計	38,016	—
特別損失		
固定資産除却損	9	—
減損損失	769	22,358
投資有価証券評価損	197	12,335
役員退職慰労金	10,700	—
保険解約損	6,700	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	25,310
その他	430	—
特別損失合計	18,806	60,004
税引前四半期純利益	209,093	141,760
法人税、住民税及び事業税	62,983	117,731
法人税等調整額	47,425	△17,800
法人税等合計	110,408	99,930
四半期純利益	98,684	41,830

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	209,093	141,760
減価償却費	23,428	22,989
減損損失	769	22,358
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	23,460	2,245
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△9,982	△4,270
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△42,860	8,390
受取利息及び受取配当金	△971	△1,234
支払利息	10,763	9,670
為替差損益 (△は益)	1,286	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△484	—
固定資産売却損益 (△は益)	△35,918	—
固定資産除却損	9	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	197	12,335
保険解約損益 (△は益)	6,700	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	25,310
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,662	△66,392
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△66,981	80,853
仕入債務の増減額 (△は減少)	88,138	105,093
その他	△66,920	16,994
小計	120,065	376,104
利息及び配当金の受取額	880	1,141
利息の支払額	△10,759	△9,670
法人税等の支払額	△73,316	△4,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,869	363,188
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△26,004	△75,600
定期預金の払戻による収入	30,937	78,000
有形固定資産の取得による支出	△16,352	△112,775
有形固定資産の売却による収入	65,508	—
無形固定資産の取得による支出	△5,568	△1,945
投資有価証券の取得による支出	△21,604	—
投資有価証券の売却による収入	3,484	—
貸付金の回収による収入	480	480
関係会社の整理による収入	18,459	—
その他	26,950	1,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	76,289	△110,356

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△90,000	15,000
長期借入れによる収入	710,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△292,461	△185,758
社債の償還による支出	△34,500	—
リース債務の返済による支出	—	△3,156
自己株式の取得による支出	△37	△68
配当金の支払額	△50,496	△25,247
その他	19	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	242,525	△99,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	355,655	153,601
現金及び現金同等物の期首残高	706,321	719,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,061,977	873,049

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。